

令和2年度			
講習の区分	<選択必修領域講習>受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択必修】食文化から見るヨーロッパの歴史と言語 －歴史・外国語学習の効果的な動機づけの提案－	講習形態	講義・実習
開設者	長崎外国語大学	定員	50名
開設日/時間	令和2年8月29日(土) / 9:50～17:20 ※7/20変更	会場	長崎外国語大学(長崎市) M203教室
主な受講対象者	学校種	<input type="checkbox"/> 幼 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支	
	免許職種、教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 教諭(国語・外国語・社会) <input type="checkbox"/> 特定しない	
	職務経験等	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 特定しない	
講習の概要	国際理解及び異文化理解教育		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員：富田高嗣(外国語学部) / tomita@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 095-840-2000			
担当教員(分担担当者等) Claudia Marra(外国語学部)・堺雅志(福岡大学教授)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 「食」という身近なテーマが、学習者の学びに対する動機づけのために、いか有効であるのかを例示し、外国語や歴史といった素材から、様々な授業に生かし得る補助教材作りの手掛かりを提示する。また、実習や討論では、異なる学校種の教諭間においてそれぞれの知見を交換することで、学習指導に関する相乗効果を目的とする。 講習方法： 講義後に討論時間(含質疑応答)を設け、講義内容の授業への汎用性を検討する。 講習到達目標： 1. 食文化と言語の歴史とのつながりを理解する。 2. 新しい補助教材作りのための着想を得る。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： ヨーロッパの食文化を例示しながら、「食」というテーマが学習者の学びに対する動機への有効性を広範囲に提示し、「食育」など広範囲にわたる素材など、小中高(国語・社会科・外国語)授業等の補助教材作りの手掛かりを示す。実習では講義の内容をもとに英語による調理実習を行う。実習を通じて各学校種の教員間による討論を実施し、各自の学習計画に有用なヒントを見つけてもらうことが目的である。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:50～10:00	富田・Marra・堺
	食の歴史とヨーロッパの言語	10:00～11:00	堺
	テーブルから見たヨーロッパ1	11:10～12:10	Marra
	昼休憩	12:10～13:00	
	食の伝播とことばの成り立ち	13:00～14:00	富田
	ことばの成り立ちと食文化	14:10～15:10	堺・富田
	テーブルから見たヨーロッパ2	15:20～16:20	Marra
	学習の動機づけのために：討論と筆記試験(30分)	16:30～17:30	富田・Marra・堺
	キーワード：(外国語) (文化史) (言語史) (学習の動機づけ)		
成績評価の方法	実習、討論および筆記試験により総合的に判断する。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	適宜プリントを配布する。		
各自で準備するもの	なし。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		

